

新春特集

2023

Super
Smart
City住めば
は
は
は

スーパースマートシティに向けて 今を、そして未来を生きる市民が 豊かで便利に生活できるまちへ

本年が皆様にとって、明るく幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

市政運営においては、施策・事業に着実に取り組み、本市がさらに発展していけるよう、市民の皆様と一緒に汗をかき、全力で取り組んでまいります。



2022年を振り返って

昨年は、2021年に引き続き、市民の生命や暮らしを守ることを第一に、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの対策に最優先で取り組んだ1年でした。

原油価格や物価が高騰し、市民生活や企業経営などに大きな影響を与えたことから、プレミアム付商品券「宮のトク×トクチケット」の販売や水道料金の基本料金2カ月分の免除、中小企業や医療機関などへの支援金制度の創設など、予算総額約70億円規模の対策を実施しました。

一方で、感染症対策に取り組みながら、大型イベントを開催しました。「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」は、市民の皆様のおもてなしにより、来場者に本市の魅力や十分に満喫していただくなど、盛況のうちに閉会しました。

さらに、関係者の皆様のご協力のもと、「FIBAX3x3ワールドツアー」のみやオープン「や」や「ジャパンカップサイクルロードレース」などを盛大に開催することができました。

この他、宇都宮駅東口交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」の

オープンやLRTの試運転を開始するなど、施設などを「つくる」から「つかう」ステージに大きく前進いたしました。

また、子どもたちが健やかに成長できるよう「児童相談所」設置検討の表明、全国のモデルとなる国の「脱炭素先行地域」に選定されるなど、さまざまな事業を推進したことで、本市の名前が大きく取り上げられた年でありました。

2023年の決意

新型コロナウイルス感染症について、引き続き、万全の体制を整え、引き続き、物価高騰に対して、市民や事業者への影響を把握し、実効性の高い対策を講じ、皆様の暮らしを守り抜いてまいります。

また、本年は、本市のまちづくりの羅針盤である「第6次総合計画後期基本計画」がスタートいたします。市民・事業者・行政が、これまで以上に連携・協力し、今を生きる市民と次世代の子どもたちが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」のみや」を、全力で創り上げてまいります。

2023年の目玉事業



HELLO,
NEW
CITY.

新しいまちの暮らし
スーパースマートシティ
うつのみや始動

本市では、NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)を土台に、「地域経済循環社会」「地域共生社会」「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」づくりの取り組みや「デジタル」技術の活用によって発展する、100年先も誰もが豊かで便利に安心して暮らせるまち「スーパースマートシティ」を目指しています。

今回は、「スーパースマートシティ」の実現に向けて、2023年に取り組む事業の一部をご紹介します。

スーパースマートシティに向けた取り組み

「3つの社会」の構築

■ 「地域共生社会」の構築

誰もが生きがいを持ち、絆を深めながら、共に支え合う地域共生社会の構築に向け、次のようなことに取り組みます。

- ▼宮っこの安全・安心な養育環境を確保する「児童相談所」の設置に向けた検討。
- ▼世代や分野を超えた、市民の困り事を丸ごと受け止める相談窓口の設置。
- ▼8050問題^{※1}やひきこもりなどの複合的な問題に対する支援の強化。



■ 「地域経済循環社会」の構築

誰もが自分の力を最大限に発揮し、さまざまな人・モノ・情報が交流する地域経済循環社会の構築に向け、次のようなことに取り組みます。

- ▼MICE^{※2}誘致の強化による圏域全体の活性化。
- ▼記念すべき第30回「ジャパンカップサイクルロードレース」の開催。



■ 「脱炭素社会」の構築

温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を実現し、100年先も輝き続けられる脱炭素社会の構築に向け、次のようなことに取り組みます。

- ▼行政における脱炭素化を率先して実行。
- ▼家庭などでの環境に配慮した行動の実践を支援。



※1 子どもがひきこもりなどで、収入がなく、80歳代の親が50歳代の子どもを経済的に支える必要がある状態のこと。

※2 企業などの会議(Meeting)、企業などの行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会などが行う大会・学会・国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、多くの集客・交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

新型コロナウイルス感染症対策と原油価格・物価高騰対策

■新型コロナワクチン接種などの感染予防対策の推進

- ▼県や医師会などと連携し、医療体制やワクチン接種の機会確保などの万全の体制を整備。



■原油価格・物価高騰対策

- ▼水道料金の基本料金(2・3月請求分)を免除。詳細は、決まり次第、市[☎]などでお知らせします。



NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)の形成

コンパクトなまちが公共交通でつながり、みんなが便利で快適に暮らせるまちの基盤「NCC」の形成に向け、次のようなことに取り組みます。

■拠点化の推進

- ▼ウォーカブルな(居心地が良く、歩きたくなる)まちなかに向けた、都市空間づくり。
- ▼地域拠点におけるスーパーマーケットや診療所などの生活利便施設の立地促進。



■ネットワーク化の推進

- ▼全国から注目を集めるLRTの8月開業とバス路線の再編。
- ▼LRT・バス・地域内交通の乗継割引の実施。



「人」づくりと少子化対策

妊娠、出産、子育て、教育までの切れ目ない支援のさらなる充実のため、次のようなことに取り組みます。

- ▼年間を通した「待機児童ゼロ」の達成。
- ▼全国トップクラスの子育て・教育環境などをはじめとした本市の魅力、東京圏で大々的に発信。



デジタルの活用

暮らしを豊かで便利にするデジタルの活用に向け、次のようなことに取り組みます。

- ▼官民連携で最先端技術の実装を目指す「Uスマート推進協議会」の取り組みの加速化。
- ▼市役所窓口のデジタル化に向けた取り組みの推進。

